静岡空港

【実施主体：個社】

静岡空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】	賃上げを含む処遇改善のために不可欠な受託料の引き上げ	外航受託料の引き上げ	従業員の賃上げを含む処遇改善に反映できるよう外航受託料の引き上げを行った。	
		国際線職員検査業務における値上げ交渉	料金の値上げに応じていただいた。（特に、検定資格者については無資格者に比べて上げ幅を多くしていただいた。）	
【短期】	人材確保にマイナスに働く受託契約の内容の適正化（キャンセル料の設定　等）	便の大幅遅延や突然のキャンセル或いは大幅遅延による深夜勤務の料金化	一部の航空会社について、勤務調整が必要になるような大幅な遅延や事前通知なしでの突然のキャンセル、或いは遅延に伴う深夜作業発生時などの料金化を実施。 また、貸し倒れなどの発生を防止するため預り保証金（デポジット）の導入又は貿易保険などを付保。	
		各航空会社における当日キャンセルにおける料金の取り決め	当日キャンセルについては全額保証していただく	
【短期】	職場環境改善に向けた取組の推進	社内CS活動としてのFF（Fun　Fan）プロジェクトの推進	従業員満足度を高めるためFFプロジェクトを立ち上げた。楽しみながらファンを増やすことをモットーに、働きやすい職場環境を作り、社員が生き甲斐・働き甲斐を感じる毎日を送れるようにすることを目的に活動を行っている。	
		警備室及び検査場における備品等の設置	国内線保安検査場に除菌・脱臭機器の設置 シュレッダーの交換 加湿器の設置 警備室のレイアウト変更による休憩スペースの拡大	
【短期】	職員の負担の集中を回避するための正確な現状把握	職員負担の集中を回避するための正確な現状把握	国内定期便のハンドリングに影響が出ないような要員配置となるよう、外航受託においては、航空会社と運行ダイヤ等について事前に調整を実施。	
		日々の運用基準表・月間の勤務割出表にて把握	一部の警備員に集中する運用とならない様、月間の勤務割出表の把握と日々の運用についても毎日の基準表にて確認している	
【短期】	適切な業務量調整による高負荷の抑制	残業・休日出勤等の状況把握	一部の社員の業務量が高負荷にならないよう毎月の残業・休日出勤等の状況を確認している。	
		各隊員における適切な休日の確保	特に新入社員における休日の確保（週休2日）を実施	

【実施主体：個社】

静岡空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】	採用活動の推進（グラハン経験者採用の強化（Uターン・Iターンの活用） 等）	採用活動の推進（グラハン経験者採用の強化（Uターン・Iターンの活用）	専門学校等に、地元に戻ってグラハンを希望するOBの紹介を依頼するとともに、地元自治体のUターン・Iターン施策に参画。	
		継続した空港職場見学会の実施	毎月空港における当社の職場見学会（施設・保安・消防の各隊）を実施。	今年度3名の中途採用者が入社、また1名の新卒者の内定が決定。
【短期】	教育期間の短縮に向けた工夫（実践技術に特化した訓練等）	教育マニュアルの更新	ポスト別教育マニュアルを「解りやすさ」に重点を置き更新。	
【短期】	需要回復の進捗状況に応じた、限られたリソースの集中的な投入	運用人員の拡充	非保安警備従事者（施設警備員）のマルチタスク化による、保安警備員（応援要員）の確保。	現状6名の応援要員を確保。
【中期】	長期に誇りをもって勤められるキャリアパスの整備	キャリアパスの提示等	ホームページにキャリアパスを掲示している。 入社教育・階層別研修などの研修機会にキャリアパスの説明を実施している。	
		検定資格取得による手当支給 社内資格による手当支給 昇任に関すること	保安検定1級、2級資格者に対する手当の支給 B/Bモニター、H/Jモニター資格、B/B、H/J責任者資格等（社内資格）による手当支給 各種資格取得が昇任にも有利に働いている。	
【中期】	ハード・ソフトの両面からの職場環境改善の推進	・ランプ業務の負担軽減のための検討 ・社員会・FFプロジェクトを中心とした職場勤務改善の推進 ※FF（Fun Fan）プロジェクト：従業員満足度を高めるための活動	・手荷物搭載業務の負担軽減のためパワースーツの導入等を検討中。 ・社員会・FFプロジェクトを通じてハード・ソフトの両面から職場環境の改善に努めている。	
		年次有給休暇の取得について	年次有給休暇についてはほぼ100％取得できている。	
【中期】	特定技能制度の積極的な活用	特定技能による人材確保策の検討	特定技能による人材確保策について検討中。	

【実施主体：個社】

静岡空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【中期】	特定技能制度の積極的な活用	外国人材の確保検討	外国語専門学校への訪問及び人材確保への取組を検討中	
【長期】	短時間労働やマルチタスク化を含む多様な働き方の実現	・短時間職員の活用 ・マルチタスク化の推進	・短時間職員制度は2018年から導入しており、社内で制度が浸透するとともに活用者も増えている。 ・旅客担当職員がランプ業務の一部を担う、またはランプ担当職員が旅客業務の一部を担うなど、10年ほど前から職務間のマルチタスク化を推進している。	
		マルチタスクを取り入れた警備体制	マルチタスク運用による応援勤務の隊員の拡充に取り組んでいる	
【長期】	業務内容や技術に応じた賃金の設定	適正な賃金の検討	各部門から社員の代表者を選抜しプロジェクトチームを立ち上げ、強靭な体質の会社を作るための他の項目を含め検討を開始した。	
		検定資格手当・モニター資格手当・レーンにおける責任者手当の支給	検定資格に加え、モニター業務やレーンの責任者に対する手当の支給を行っている。	
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現	静岡県及び空港会社との連携	静岡県及び空港会社と新規就航に関する情報共有を定期的に行うとともに、空港会社とは人材交流などを行いリスクを分担している。	
		空港会社との情報共有	空港会社と新規就航に関する情報共有及び当社の運用状況について情報共有を行い、今後起こりうるリスクへの相談を行っている。	
【長期】	人件費圧縮競争を防止する観点からの多重委託構造や雇用慣行・契約慣行の見直し（保安検査における長い拘束時間の見直し　等）	拘束時間内における待機時間の運用	待機時間を休憩とせず（休憩は1時間）教育等に充てている。	

【実施主体：空港会社等】

静岡空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】	空港内の労働環境の改善	①待遇改善 ②共同休憩室の改修	①直営パート社員の時給UP（地域相場以上を考慮して）→最賃改定に合わせて実施済み ②空室を活用したテナント・関係者が利用できる共同休憩室共用開始	
【短期】	空港の知名度を生かした採用活動（空港短期の合同説明会等）	公式ホームページ活用（継続）	空港公式HPに各社採用ページへの誘導リンクページを作成→HP他、SNSを活用した発信を実施済み。	https://www.mtfuji-shizuokaairport.jp/information/recruit/
【短期】	マルチタスクを担うことができる空港人材の育成に向けた研修	①正社員向け通信講座受講（継続） ②将来の空港人材の発掘（継続）	①通信講座の受講奨励（業務分野にかかわらず。→実施済み（正社員対象） ②地元中学校・高校向け職業講話の開催→実施済み	
【短期】	空港WGの活動推進	①航空局主催の説明会への参加案内 ②国からの照会に対する対応依頼 ③補正補助事業（空港業務体制強化支援事業）の活用	①WG構成員に対して、中間とりまとめに関する説明会への参加案内。 ②国からのGSEに関する照会について、WG構成員に対して対応を依頼。 ③補助金申請に係る情報共有や計画承認。	
【中期】	GSE車両の共有化・共用化の推進	リモコン式電動航空機牽引機材の導入	国補助金を活用し、リモコン式電動航空機牽引機材を空港会社にて購入、空港会社が所有しグランドハンドリング会社に賃貸することで、導入ハードルを下げ機動的な省力化推進に努めた。	ランプ人材の省力化（1便当たり最大でマイナス2名） ※実施月は契約日。導入はR8.3予定。
【中期】	男女比の極端な偏りの解消に向けた取組推進（「旅客は女性」等のイメージ払拭、更衣室等の施設整備　等）			
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現	空港会社からハンドリング会社への人員支援のための出向。	2023年12月～1年間　3名応援出向	
【長期】	スマートレーン等の先進機器の導入			

【実施主体：空港会社等】

静岡空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【長期】	サプライチェーン等を意識した効率的な設備配置に向けた調整			

【実施主体：地方自治体】

静岡空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】	地元グラハン会社・検査会社とのコミュニケーションの強化（人員体制等の正確な現状把握　等）	地元グラハン会社、保安検査会社との打合せ	国補助金の活用にあわせ、各社の人員体制等の状況を打合せ通じて把握し、体制強化の取組について認識の摺り合わせを実施	
		地元グラハン会社・空港運営権者・県による3者協議	国際線の新規就航・増便に関して、3者での協議を定期的に実施し、人員体制や受入体制等の現状把握を実施したうえで、受入の調整を実施	
		地元グラハン会社との意見交換	地元グラハン会社社長、富士山静岡空港株式会社社長及び県幹部による意見交換会を実施	
【短期】	空港業務は地域の雇用を支える地場産業であるという観点から、部局横断的な連携の下での取組の実施	学生ライターが作成する企業情報誌でグラハン会社を紹介（静岡県労働雇用政策課事業）	静岡県の『ふじのくにパスポート』学生による企業情報等発信事業で、学生ライターによる企業情報誌作成の中でグラハン会社を紹介。（静岡県地域企業情報誌「就活生のミカタ」）	https://www.shizuokashigoto.com/featured/detail/8
		県インバウンド関連部局連携のもとの資料作成	国補助事業申請の際に添付する県観光インバウンド事業資料の作成	
		県教育委員会との調整による地上支援業務会社への県内高校生採用への取組	静岡県高等学校校長協会就職指導員会の静岡空港開催及び、地上支援業務会社の紹介・視察	
		県産業懇話会での空港業務雇用に関しての議論及び部局横断的な課題の共有	産業振興部局主催懇話会出席企業からの、空港業務雇用に関しての課題等の共有及び、課題解決に向けた空港部局による予算措置	
【短期】	空港業務は地域の雇用を支える地場産業であるという観点から、部局横断的な連携の下での取組の実施	県・市町・地元グラハン会社3者での連携した空港業務PR活動	空港隣接市町における広報誌に空港PR情報や地元グラハン会社の採用広告を掲載。 移住・就業支援金の対象企業として、地元グラハン会社を登録するなど、地元での雇用促進活動を実施	https://www.city.makinohara.shizuoka.jp/uploaded/attachment/45109.pdf https://shizuoka.saiyo-job.jp/dsaiyo/lazb/pc_job/show/b03119/4861
【短期】	空港業務支援も誘致支援の一部と位置づけた上での関係部局（観光、産業振興　等）と連携した支援の実施	学生ライターが作成する企業情報誌でグラハン会社を紹介（静岡県労働雇用政策課事業）	静岡県の『ふじのくにパスポート』学生による企業情報等発信事業で、学生ライターによる企業情報誌作成の中でグラハン会社を紹介。（静岡県地域企業情報誌「就活生のミカタ」）	https://www.shizuokashigoto.com/featured/detail/8
【短期】	空港WGの活用推進	国からの照会に対する対応依頼	国からのGSEに関する照会について、WG構成員に対して対応を依頼。	

【実施主体：地方自治体】

静岡空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】	空港WGの活用推進	空港WG計画作成に伴う構成メンバー間の情報共有	令和6年度国補正予算補助事業対応における空港WGで計画作成を行い、構成メンバー間での空港の課題等の共有を実施。	
【中期】	地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の検討（空港アクセスの不便さ等を考慮した住居支援、通勤支援　等）	空港勤務者への自動車以外の通勤手段確保の検討	空港業務従事者から要望のあった自動車以外の通勤手段について、空港運営権者に要望伝達するとともに、通勤者用乗り合いバス等の通勤手段の導入検討を伝達。	
【中期】	特定技能の在留資格を有する外国人が地域に馴染むための環境整備	県地元グラハン会社に対する、県内の外国人受入先進企業等の情報提供など	地元グラハン会社との外国人受入先進企業訪問等による、受入環境整備についての情報収集等を実施予定。また、県の多文化共生や就業支援の担当部署等からの情報を地元グラハン会社に提供予定。	取組実施予定
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現	地元グラハン会社・空港運営権者・県による3者協議の実施	財政的リスク分担について当事者間で協議を行っていないが、国際線の新規就航・増便の交渉計画とグランドハンドリング会社の採用計画のすり合わせを定期的に実施し、需給ギャップの極小化を図っている	
【長期】	持続可能な観点からの戦略的な路線誘致（交通部局と観光部局との緊密な連携）	路線誘致に必要な需要拡大について、空港部門がアウトバウンド、観光部門がインバウンドを担当し、路線就航につなげる	県の海外駐在員事務所（ソウル、上海、台北、シンガポール）が空港部門・観光部門と路線誘致戦略を共有し、東アジア・東南アジアをターゲットに路線誘致を展開	
【長期】	地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の充実	空港業務の担い手との密なコミュニケーション及び支援検討	担い手とのコミュニケーションの場を定期的に持ちながら、その時々のニーズ等を常に把握する。 ニーズや課題に関して、自治体他部局や運営権者と連携をしながら、必要な支援策を検討していく。	